

「めざせひらがなめいじん！」（14時間扱い）

授業者 澤田 仁志

1. 国語科の目標・低学年における目標・本単元の目標・育成すべき資質能力を踏まえた単元の評価基準

国語科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	国語科の見方・考え方		
	創造的思考とそれを支える論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面から言葉の働きを捉え、理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを深めること。		
	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等など (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	
低学年の目標	【国語】日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【書写】 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと ・点画の書き方や文字の形に注意しながら筆順に従って丁寧に書くこと ・点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
本単元の目標	友達と教え合ったり、話し合ったりしながら、ひらがなを正しく書くことができるようにする。		
	ひらがなの始筆・送筆・終筆の書き方を理解して正しく書くことができる。 文字の外形や書き順に気を付けて正しく書くことができる。 書き順の間違いやすい文字や「とめ」「まがり」「おりかえし」などが難しい文字の特徴に気付き、正しい書き順で字形を整えて書くことができる。	正しい文字を書くために、友達と教え合ったり、話し合ったりしている。 練習の方法を工夫したり、課題をもって、文字を書いたりしている。	友達の文字のよいところを見つけようとしている。 身に付けた書く力を、国語科の他領域、他教科、日常生活に生かし、積極的に使おうとする。
	評価1	評価2	評価3

《単元について》

新学習指導要領では、内容の初めに、「知識・技能」が位置付けられた。そのことによって、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をはぐくむことを重視していることが明確になった。書写も文字という重要な伝達ツールを習得する重要な学習である。

入門期の本単元では、文字学習の始めとしてひらがなの書き方を学習する。ひらがな一文字一文字の「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おりかえし」「むすび」などの書き方や書き順を理解し、語句や文の中で正しく書けるようになることをねらいとしている。また、拗音・促音といった小さく書く文字と、句読点、かぎなどの書く位置と大きさを理解して、正しく書くことがねらいである。さらに、ひらがなの表の学習において、終筆や送筆の書き方、書き始めるところ、書き順などの各項目を振り返り、書く力の定着を図る単元を構想する。

書写は知識・技能を習得することに重きを置いた領域だが、知識・技能もアクティブ・ラーニングを通して身に付けることが効果的であると考え。友達とどのように書くことで正しい文字が書けるのか考えを出し合ったり、友達の文字のよさを見つけ、それを取り入れたり、文字の特徴をグループで考えを出し合いながら見つけたりするなど、より子供が主体となり、対話をしながら学ぶ学習形態を意識した授業を構想していく。

2. 研究との関わり

(1) 資質・能力を育成する「学びの文脈」→「書写で身に付けた知識・技能」を活用

資質・能力のつながり

国語科

- ・登場人物の行動について考えたことをノートに正確に書く。
- ・自分の思いを作文に書き表す。
- ・漢字を正しく書き、文の中で正しく使う。
- ・本の紹介カードを誰もが見やすいように作成する。
- ・様々な言語活動を行う際の表現活動において、文字の大きさ、形、見やすさなどをより相手に伝わるように工夫して書く。

生活科

- ・思いや願い、気付きなどを罫線やマス目のある用紙、白紙の用紙に工夫して書く。
- ・ちびっこまつりを開いてくれたお礼のお手紙を幼稚園の子供たちにもつたわるように、わかりやすい文字で書く。
- ・観察したこと、見つけたものなどを絵で表し、その絵の内容や説明、補足的な文を考えて、丁寧に書く。
- ・お祭りなどの看板の文字などをわかりやすく工夫して書く。

特別活動

- ・係活動の活動内容やメンバーを、掲示物に正しく見やすく書き、活動の際に活用する。
- ・学級をよりよくするための掲示物を書いたり、イベントのお知らせなどのポスターを文字の大きさや配置など、読み手が見やすいように工夫して書いたりする。

算数科

- ・ノートに問題や計算を正しく書き、問題に取り組む。
- ・自分の考えを説明するために、誰にでも読みやすい文字で書く。

国語科（書写）において育成を目指す「思考力・判断力・表現力等」

- ・目的に応じて、筆記用具を選択し、書き方を工夫して活用していく力
- ・場に応じて、書く早さや文字の大きさ、太さなどを意識して書く力
- ・国語科の言語活動や日常生活において、相手意識や目的意識をもち、思いや考えを伝え合うツールとしての文字を活用していく力

本単元における「資質・能力」を身に付けた子供の姿（例）

- ・覚えたひらがなを話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの学習に生かしている。
 - ・他教科での学習に覚えたひらがなを活用して、思考したり、表現したりしている。
 - ・伝達ツールとして、ひらがなを積極的に使っている。
- ※ 将来的には、筆順も正しく楷書で文字が書け、漢字の習得量も豊富な人。身に付けた書写能力を様々な活用できる人。
- 例：領収証に素早く正確に、聞き取った名前や企業名を書くことができる人
礼状、会議などの板書、様々なポスターなどのデザインなど、文字を工夫して書いたり、様々な場面で活用したりできる人

(2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

○ 手立て1 **子供が意欲的に課題を解決できるような、発問の工夫や課題の提示をする**

子供が課題を解決していく必要感や必然性を感じながら、課題を追究していくことができるよう、発問を工夫したり、課題提示を工夫したりする。また、単元を通して「ひらがなめいじんになるう！」という課題を提示することで、「名人のポイント探し」という、課題をつかむ段階が毎時間繰り返されるため、自分で学習することを見つけることができ、より主体的になると考える。書写の学習でイメージがある「お手本通りに書きなさい」という指導ではなく、「どうすれば正しく書くことができるのか」と自分で考えて文字を書くことができるような課題提示が子供の意欲をさらに高める。また、あえて、形の整わない文字を書いてどこが悪いのか、また何に気をつけて書くとよいのか気付くことができるような発問の工夫も有効である。子供にとって難解な文字が、どうすると正しく書くことができるのか、運筆の仕方や文字の形、マス目の効果的な活用方法など、様々な観点で考えることができるように発問を工夫する。そうすることで、友達の考えを聞いたり、一緒に話し合いながら考えてみたりするなど、対話的な学びも誘発することができるように考える。

- 手立て2 正しく文字を書いたり，文字の特徴を捉えたりするために，対話的な学びを必要とする場を設定する。

友達と正しい文字の書き方について考えを出し合ったり，友達の文字のよさを見つけ，それを取り入れたり，文字の特徴をグループで考えを出し合いながら見つけたりするなど，より子供が主体となり，対話をしながら学ぶ学習形態を工夫する。また，教室の環境を工夫し，文字の特徴や運筆の仕方など様々な知識や技能に合わせたブースを設定し，自分の課題に応じて，学習に取り組めるようにする。同じ課題をもつ子供同士が，教え合ったり，互いの書き方を交流したりするなど，自然と対話が生まれるような学習環境を工夫する。

- 手立て3 正しい文字を書いたり，文字の特徴に気付いたりするために ICT を活用する。

文字の特徴に気付くことができるように，ひらがなを実際に教師が書いている様子を実物投影機で見せたり，ひらがなの書き方の動画を視聴し，形や文字の特徴について話し合ったりする場を設ける。また，実物投影機の上で実際に書いてみながら，友達とよいところや改善点について話し合うことができるような活動，もしくは，ブースを設けて，いつでも機器を活用することができるようにする。

3. 単元のグランドデザイン

	書き順や書き方		ひらがなの形の特徴・マス目の利用		ひらがなの表
	1・2・3・4	5・6・7	8・9(本時)	10・11	12・13・14
開始期	子供がその日の学習をつかむことができるような発問と課題提示の工夫【ひらがな名人になって，お手紙を書いたり，いろいろな活動に使ったりしよう】				
	①線の終わり ②書き順 ③④書き始め について，課題をつかむ。	④似ているひらがなを理解する。 ⑤⑥似ているひらがなについて課題をつかむ。	⑧⑨線の途中に書き方について課題をつかむ。(まがり・おりかえし・むすび)	⑩マス目の中の書く位置(拗音・促音・句読点・かぎ・濁音の位置) ⑪文字の外形について課題をつかむ。	⑫課題の多いひらがなの再確認と課題解決をする。 ⑬ひらがなの表を文字の要素で分類し文字を自分の課題に応じて練習する。 ⑭お友達にお手紙を書いたりして，使ってみる。
展開期	文字を書いている動画の活用と，教師の書いている姿を映す実物投影機の活用				
	・お手本の文字と教師の書いた文字や書き順に気付く。	・似ているひらがなの仲間集めをする。	・お手本の送筆と教師の書いた送筆の違いに気付く。	・マス目の中のどの部屋に書くときよいか理解する。	課題に応じた環境構成 ⑫字形が整わない文字の把握と特徴の把握。 ⑬文字の分類をする。 ☆書くのが難しい ☆書くのが簡単 ☆書き順を間違いない ☆外形の近さ
まとめ期	課題解決の糸口をつかむことができるような発問の工夫				
	・どのように書き方を気をつけたり工夫をすれば，正しく文字が書けるか話し合う。 ・書くポイントを焦点化する。	・分類したひらがなを交流する。 ・分類したひらがなを似ているところに気をつけて書く。	・どのように書き方を気をつけたり工夫をすれば，正しく文字が書けるか話し合う。	・小さく書く文字書き方に注意しながら書く。 ・文字の外形について注意しながら書く。	実物投影ブースなど ⑬分類した文字をどのように練習するか考える。 ⑭ブースごとに分かれて課題に応じて練習
まとめ期	文字の特徴の話し合い，互いの文字の良さの見つけ合い ・はじめに書いた文字と，最後に書いた文字の比較。 ・互いの成長の(よくなったところ)の見つけ合い。 ・どのように工夫して書いたかの説明のし合い。				対話的な学び 課題解決のためのグループワーク，また，ブースごとに練習する様子を相互評価する。 ※評価のポイント ・姿勢，鉛筆の持ち方 ・書いている文字のマス目の部屋 ・送筆・終筆が正確か。 ・外形が正しいか。

4. 本時案 (9/14)

本時の目標	
<ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきた、課題の残る文字について、その特徴に気付き、字形を整えて書くことができるようにする。 	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 前時の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> さわだの「わ」を折り返しに気をつけて書いたよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「さ」も「た」も、みんな上手に書けてたよね。 </div> </div> <p>○ 本時の見通しをもち、学習のめあてを把握する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 今日は、「ひ」と「と」を教えあげてあげるんだよね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひ」はまがりと折り返し、「と」はまがりだね。 </div> </div> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 「おりかえし」と「まがり」にきをつけて先生に「ひ」「と」を教えよう。 </div>	<p>☆ 前時とのつながりを意識し、課題をつかんだり、学習の見通しを持つことができるような働きかけをする。</p> <p>☆ 前時の振り返りから想起したことをさらに具体化できるような課題提示の工夫をする。【手立て1】</p>
<p>○ いろいろな「ひ」や「と」を見て感じたことを話し合う。(個人→全体→グループ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> この「ひ」はなんだか折り返しが丸いね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「と」のまがりのところがカクンとなっていてだめだね。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひ」ってもう少し斜めに傾いているような…。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> まがりが大きすぎてもかっこわるいね。 </div> </div> <p>○ 「ひ」「と」を書くためのコツを見つける。(グループ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひ」はどうやって行ったらいいのかな…。斜めに…まがる… </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ま」の結びは、しっかり駐めて終わらないとだめだね。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「と」は手のひらで表すとほら、こんな感じ！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 体を使って大きく空に書いて説明してみようかな。 </div> </div> <p>○ 互いに教え合いながら実際に書いてみる。(グループ→全体)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひ」はもう少し斜めに傾けて見ようよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「と」のまがりが難しいね。もう一度…。 </div> </div> <p>○ 気をつけることや上手に書くコツを交流する。(全体)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> ○○さんが書いていた書き方がいと想うんだけど…。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> まがりは、ふわあつとした感じで書くといいと思った。 </div> </div>	<p>◇ 送筆の書き方や特徴に気付き、それぞれ提示された文字に対する違和感を話し合っている。 [評価1]</p> <p>☆ 様々な形、おりかえし、まがりの「と」や「ひ」と正しい「と」や「ひ」と比較できるような文字の提示を工夫する。【手立て2】</p> <p>◇ 正しい文字を書くために、友達と教え合ったり、話し合ったりしている。 [評価2]</p> <p>☆ より多くの考え方に触れられるよう、グループでの交流に加えて、自由に交流する時間と場を保障する【手立て2】</p> <p>☆ 自分の書いた文字を客観的に見ることができるように、互いに文字を書き、相互評価し合う場を設ける。【手立て2】</p> <p>☆ 書いているときは姿勢や鉛筆の持ち方のことも声がけする。</p>
<p>○ もう一度交流したことを意識して書く。(個人)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひ」を何度も練習してみよう。だんだんよくなってきた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「と」のまがりがおわたたあとかくんとしちやってたから、次こそは…。 </div> </div> <p>○ 今日の学習の感想を交流したり、書いた文字を互いに見合ったりする。(全体)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 「ひとし」が上手に書けるように見本を書けたよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> まがりとか折り返しのある他の文字も練習したいな。 </div> </div>	<p>◇ 友達の文字のよいところを見つけようとしている。 [評価3]</p> <p>☆ 一人一人がじっくりと文字と向き合い、正しく書くことができるような一人の時間を確保する。</p> <p>☆ 今日の学習を振り返るとともに、次の学習への見通しをもったり、自分の文字への手応えを感じることができるような働きかけをする。</p>
上手に書くコツを気をつけて、みんなで教え合いながら先生に書き方を教えられたよ。	